

～次代へつなぐ豊かな農業・農協と地域社会をめざして～

2020-上期-

JA佐渡の経営内容



稲刈りあとの田んぼとトキ

プロフィール

設 立	平成5年8月1日
本 店 所 在 地	新潟県佐渡市原黒 300-1
出 資 金	24.3 億円
総 資 産	1,233 億円
組 合 員 数	15,417 人 (正組合員 7,452 人・准組合員 7,965 人)
職 員 数	441 人
店 舗 数	本店、支店 9 店

(令和2年8月31日現在)

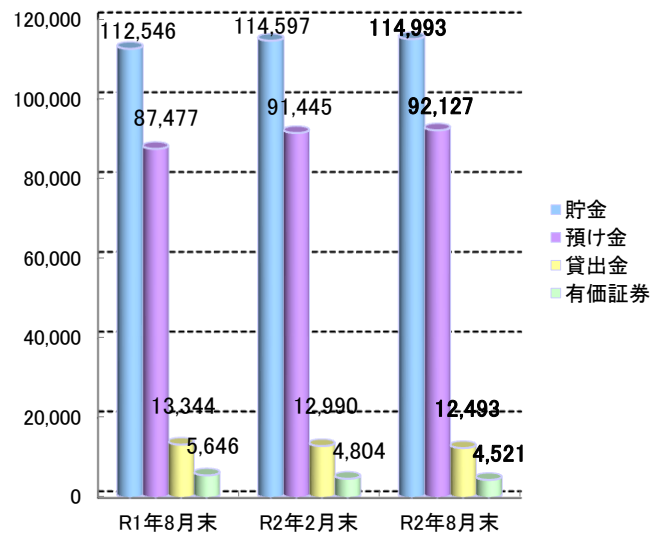
令和2年8月末 J A佐渡の経営状況は次のとおりです。

主要勘定の状況

(単位: 百万円)

	R1年8月末	R2年2月末	R2年8月末
貯金	112,546	114,597	114,993
預け金	87,477	91,445	92,127
貸出金	13,344	12,990	12,493
有価証券	5,646	4,804	4,521

- 貯金残高は、計画比 101.3%、前年比 102.2%となっています。
キャンペーン商品により個人貯金が計画比 102.0%、前年比 103.6%と個人貯金の増加の結果に結びつきました。
- 貸出金残高は、計画比 95.6%、前年比 93.6%となっています。
公金約定償還により貸出金は減少しました。新規事業資金（一般資金）もニーズ把握が十分に出来ず、計画に届きませんでした。
- 有価証券は、満期償還の影響により残高が減少したため、計画比 99.5%、前年比 75.4%となりました。

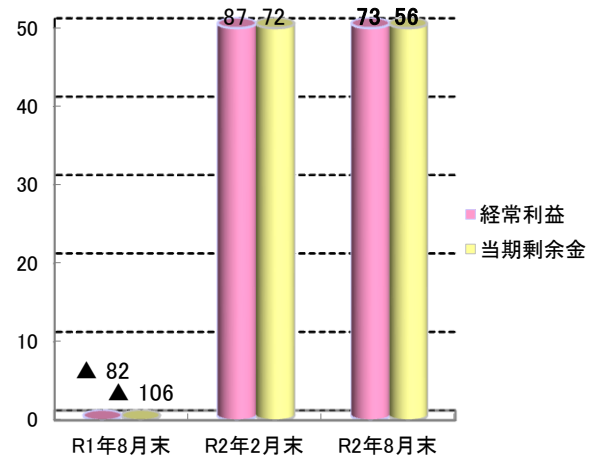


経営収支の状況

(単位: 百万円)

	R1年8月末	R2年2月末	R2年8月末
経常収益	3,895	8,273	3,603
経常費用	3,977	8,186	3,530
経常利益	▲82	87	73
当期剰余金	▲106	72	56
未処分剰余金	—	82	68

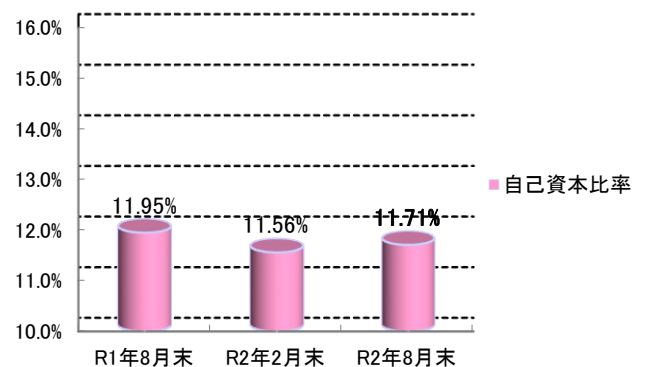
- 2019年度の事業総利益は前年を 36 百万円下回る 2,745 百万円となりました。事業管理費は前年を 37 百万円下回り、結果として 48 百万円の事業利益となりました。
最終損益は、72 百万円の当期剰余金となりました。



単体自己資本比率(推計値)

(単位: 百万円)

	R1年8月末 (推計値)	R2年2月末	R2年8月末 (推計値)
自己資本額(A)	5,478	5,565	5,643
リスク・アセット(B)	45,825	48,130	48,172
自己資本比率 (A)÷(B)×100	11.95%程度	11.56%	11.71%程度



8 月末の単体自己資本比率(推計値)は令和 2 年 2 月末の自己資本額・信用リスクアセット額・オペレーショナルリスク相当額を基準に、8 月末までの資産増減から推計した信用リスクアセット増減額により算出しています。

自己資本比率の算出方法について

○出資金や利益準備金、諸積立金等の自己資本額を「分子」に、資産のリスクに応じてウェイトづけをした総資産等（リスク・アセット）を「分母」として算出しています。

※リスク・アセットとは…万が一の場合、貸し倒れの危険性がある資産を項目ごとに貸し倒れのリスクに応じた掛目（リスクウェイト）を乗じた総額をリスク・アセットといいます。

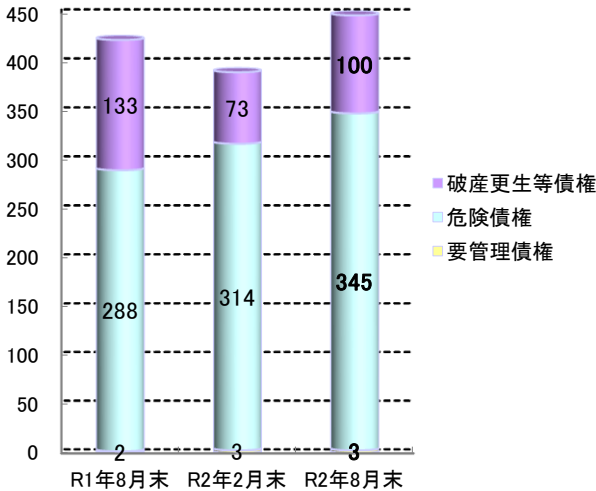
※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

不良債権の状況

金融再生法開示債権(法施行規則第4条の規定によるもの)

(単位: 百万円)

	R1 年 8 月末	R2 年 2 月末	R2 年 8 月末
破産更生等債権①	133	73	100
危険債権②	288	314	345
要管理債権③	2	3	3
小計(①+②+③=A)	424	391	449
正常債権④	13,135	12,700	12,311
債権額合計(A+④=B)	13,560	13,091	12,761
債権額に占める開示債権の割合(A÷B×100)	3.12%	2.98%	3.51%



開示債権と保全の状況(令和2年8月末)

当組合では、厳格な自己査定を実施し、担保・保証等による保全のない部分に対しては適正な償却・引当等を行うなど、資産の健全性の確保に努めています。

(単位: 百万円)

自己査定と保全の状況					金融再生法開示債権 (経済債権を含む)		リスク管理債権	
債務者区分	残高 A	担保等保全額 B	貸倒引当金 C	保全率(B+C)÷A	区分	残高	区分	残高
破綻先	5	83	47	100.0%	破産更生等債権	100	破綻先債権	5
実質破綻先	125				危険債権	345	延滞債権	441
破綻懸念先	376	160	205	97.1%			3ヵ月以上延滞債権	—
要注意先	要管理先	9	7	0	要管理債権	3	貸出条件緩和債権	3
	その他要注意先	395					合計	449
正常先	15,210				正常債権	12,311		
合計	16,122				合計	12,761		

リスク管理債権について

- 「破綻先債権」とは、未収利息を計上しなかった貸出金(貸倒償却を行った部分を除きます。以下「未収利息不計上貸出金」といいます。)のうち、法人税法施行令第96条第1項第3号イからホまでに掲げる事由または同項第4号に規定する事由が生じている貸出金です。
- 「延滞債権」とは、未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権および債務者の経営再建または支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したもの以外の貸出金です。
- 「3ヵ月以上延滞債権」とは、債務者が利息または元本の支払いを3ヵ月以上延滞している貸出金です。
- 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金です。

金融再生法開示債権について

- 「破産更生等債権」とは、金融再生法に規定する「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」のことで、破産・会社更生・再生手続等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権です。
- 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状況には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 「要管理債権」とは、「破産更生等債権」および「危険債権」を除く3ヵ月以上延滞債権および貸出条件緩和債権です。
- 「正常債権」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないもので、「破産更生等債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権です。

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

有価証券等時価情報

(単位:百万円)

保有区分	R1 年 8 月末			R2 年 8 月末		
	取得価格	時 価	評価損益	取得価格	時 価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	-	-	-	-	-	-
そ の 他	5,355	5,506	151	4,417	4,420	2
合 計	5,355	5,506	151	4,417	4,420	2

(注) 1. 有価証券の時価は期末時(2 月末)における市場価格等によっております。

地域経済・くらしへの貢献

当 J A の資金は、その大半が組合員のみなさまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を財源とし、これを生産拡大等の設備投資を必要とする組合員の皆様等に資金としてご利用いただいております。特に、佐渡においては、農業が島の経済に及ぼす影響が大きく、J A は地域農業の維持発展を通して地域に貢献していくという「**農業メインバンク**」として社会的責任を担っております。

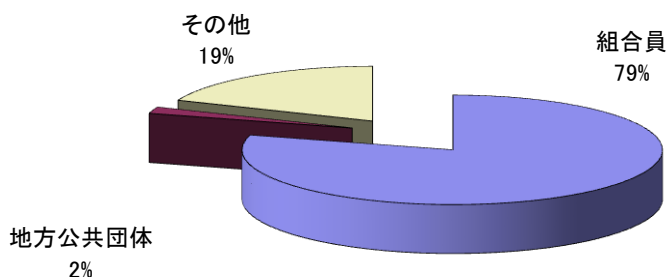
また、年金相談会の定期開催や、融資センターでの平日の営業時間延長や土日の融資相談など利便性の向上、各地域におけるキャッシュサービスコーナーの設置など、地域の皆様のくらしの支援活動に取り組みながら佐渡における「**生活メインバンク**」として機能発揮に努めております。

地域からの資金調達の状況

組合員・地域のご利用者の皆様に信頼され、大切な財産（貯金）をお預かりしております。

(単位:百万円)

種 類	残 高
組 合 員	91,215
地 方 公 共 団 体	2,190
そ の 他	21,587
合 計	114,993

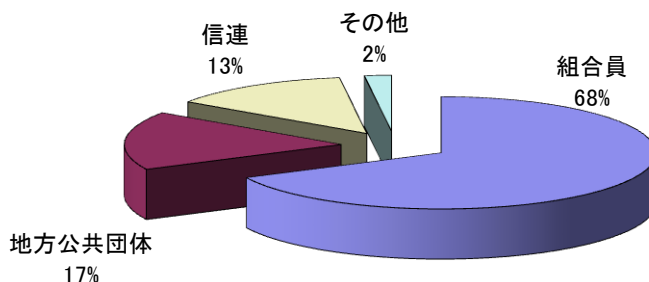


地域への資金供給の状況

組合員の皆様をはじめ、地域の皆様に必要な資金をご融資し、地域経済の発展に貢献しております。

(単位:百万円)

種 類	残 高
組 合 員	8,459
地 方 公 共 団 体	2,101
信 連	1,680
そ の 他	252
合 計	12,493



※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

農業メインバンク機能強化への取り組み

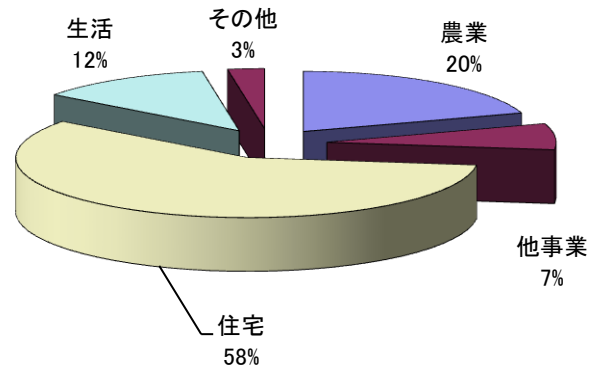
地域密着型金融事業を基本として、農業融資専任担当者による農業者・法人への訪問活動を実施し、ご融資の相談に応じる態勢を整えております。あわせてＴＡＣ（営農経済渉外活動）等他部門と連携した相談機能の充実をはかっております。こうした活動を円滑に実施するため「ＪＡバンク農業金融プランナー」の資格取得を促進し、農業者に対する適切な資金対応ができる農業融資担当者の育成をはかっております。また、ＪＡグループ新潟およびＪＡ佐渡独自の利子助成制度による農業者の実質負担金利の軽減をはかるなど、農業者支援の取り組みを行っております。

貸出金の資金使途別等の残高

〔貸出金〕

（単位：百万円）

種 類	R1 年 8 月 末	R2 年 8 月 末
農 業 資 金	1,723	1,741
そ の 他 事 業 資 金	754	610
住 宅 関 連 資 金	4,876	5,074
生 活 関 連 資 金	1,145	1,061
そ の 他	268	223
合 計	8,769	8,712



地方公共団体、信連貸付の残高を除いています。

自己改革の取り組み

国の「農協改革」の動きに対して、ＪＡグループ独自に「自己改革」を設定し組織を挙げて取り組むことを決定し、当ＪＡも第９次中期３カ年計画（２０１９年度～２０２１年度）に独自の自己改革を織り込み、中間年となる今年度は計画の実践とその成果が求められる年度となります。今年度上期の状況について関連する主な取り組みを中心に次の通り報告します。

◆農業振興等に関する取り組み

令和元年産主食用米は、業務用品種の販売不振が進む中、佐渡コシヒカリは順調に販売が進みました。実績としては、全農の早期買い取りにより、秋までの収入が一括計上されたため一時的な収益増となりました。高品質、良食味の佐渡米の安定生産のため、「佐渡米未来プロジェクト 品質向上 90」の取り組みを継続し強化します。

令和２年産（８月末時点）のおけさ柿については、着果状況も良好で気象災害もなく順調に生育しており、量品とも期待できる状況です。生産面積の減少傾向がつづく中、産地ブランド維持のための取り組みを進めております。

おけさ柿の次世代生産者の育成では、「ＪＡ佐渡おけさ柿担い手育成塾」が５年目を迎えました。収量向上対策としては、園地の若返り（柿改植推進）として本年秋からＪＡ独自の苗木供給もスタートします。

また、生産者同士の技術向上対策として、島内に１４箇所のモデル園地の設置や「おけさ柿指導員」を新規に立ちあげ自主指導体制を構築しました。

ＣＢＳ（注１）の子牛販売は、前回の５１頭を下回る４６頭で平均単価も１２０千円減額となりました。子牛の販売価格は、牛肉の消費低迷による全国的な枝肉価格低下の影響を大きく受けたかたちとなりました。

◆生産コスト低減等の取り組み

佐渡米品質向上の一環として、ケイ酸質肥料施肥や高温期の後期栄養不足解消のため穂肥の必要性を指導会で説明

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

し、各種予約奨励や「新潟県統一銘柄肥料」の価格メリットをPRするなど、取扱高の拡大と生産コスト低減に取り組んでいます。

◆農業融資と地域貢献に関する取り組み

「新潟農業応援ファンド」「経営継続補助金」等の活用のため、営農担当と農業機械担当が連携し、生産者への栽培資材や農業機械等の具体的な提案と申請支援を行いました。情報収集と担い手農家への訪問を強化することで農業を通じ、地域貢献に努めます。

注1.【CBS】：平成29～30年度に新穂潟上地区に設置した大型和牛繁殖支援施設。

新型コロナウイルスの影響を受け、販売面では一部の農畜産物において販売価格の低下や出荷数量の減少となりました。農機・車両に関しても、部品の入荷の遅れやメーカーの生産ライン停止等の影響により販売台数の減少となりました。事業実績が伸び悩むなか、事務の効率化や経費の節減に取り組み、事業管理費の抑制に努めています。

これからも地域と共にあるJAを目指して

当JAでは、営農・金融事業のほかにも各種事業活動やグループ会社の活動を通じて、組合員をはじめ地域住民の暮らしの応援を行っております。

◇Aコープ店：食料品を中心とした「くらしの拠点」として、各地区に7店舗、佐渡総合病院にそれぞれ売店を設置しております。地場産農産物の販売などで、地域のくらしと農業生産活動の橋渡し役として店舗運営を行っております。

◇農産物直売所：JA直営直売所「新鮮空間 やらんか舎」と「野菜きて屋まの」、Aコープ各店でのインショップ方式による産直コーナーを通じて、農家の皆様と一緒に地域の消費者へ安全、新鮮な品物をお届けしています。

◇セレモニーホール：増加するホール葬需要に応えるために、グループ会社の運営により島内2か所にセレモニーホールを設置しております。また、自宅葬や出張葬など幅広いニーズへの対応を行っております。

◇セルフスタンド：本土に比べ高い島内のガソリン等の価格の引き下げの牽引的役割として、セルフ方式のガソリンスタンドを島内3か所に設けております。



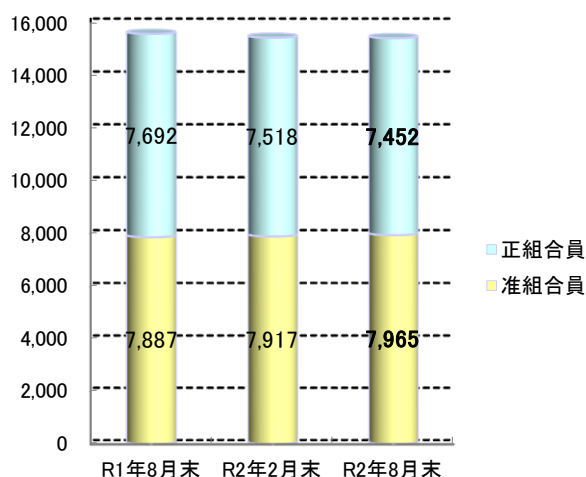
写真：農産物直売所「新鮮空間やらんか舎」

★このようにJA佐渡は組合員、地域の皆様の営農とくらしに密着した様々な事業とともに、組合員加入運動に取り組んでいます。

組合員数の推移

(単位:組合員数)

	R1年8月末	R2年2月末	R2年8月末
正組合員	7,692	7,518	7,452
准組合員	7,887	7,917	7,965
組合員計	15,579	15,435	15,417



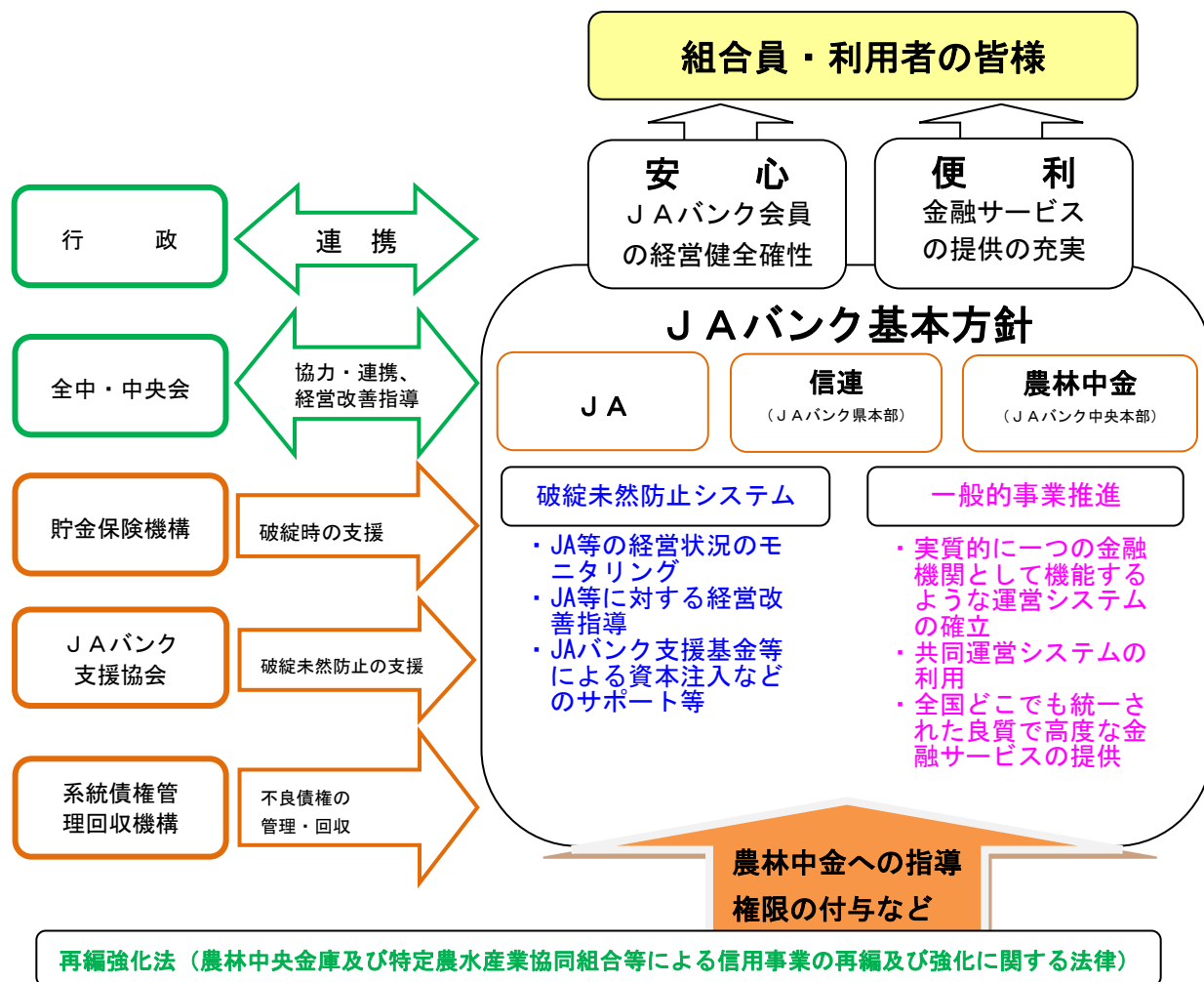
※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

皆様の大切な貯金を安心バンク、ＪＡバンクが守っています。

ＪＡバンクシステム

ＪＡバンクは、ＪＡバンク会員（ＪＡ・信連・農林中金）で構成するグループの名称であり、組合員・利用者のみならず便利で安心な金融機関としてご利用いただけるよう、ＪＡバンク会員が一体的に取り組む仕組みを「ＪＡバンクシステム」といいます。

「ＪＡバンクシステム」は、ＪＡバンクの信頼性を確保する「破綻未然防止システム」と、スケールメリットときめ細かい顧客接点を活かした金融サービス提供の充実・強化を目指す「一体的事業推進」の2つを柱で成り立っています。



ＪＡバンク・セーフティーネット

貯金保険制度

- 貯金者を保護するための国の公的な制度で、貯金保護の範囲は「預金保険制度」と同じです。
- 貯金業務を取り扱う全てのＪＡ・県信連・農林中央金庫などが加入しています。

+

破綻未然防止システム

- 全国のＪＡバンクが協力して個々のＪＡを支援する、独自の制度である「相互援助制度」を一層充実・強化しています。
- 「破綻未然防止システム」とは、ＪＡの経営状況のチェック（モニタリング）、経営改善への取り組み、「ＪＡバンク支援基金」によるサポートを行う仕組みです。

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。



佐渡農業協同組合

編集 佐渡農業協同組合 総務部

〒952-8502

新潟県佐渡市原黒300番地1

TEL 0259-27-6161

FAX 0259-27-6170

Eメール kikakuka@ja-sado-niigata.or.jp

ホームページ <http://www.ja-sado-niigata.or.jp/>

JA佐渡

検索

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。